

## 突然ながら 本田良寛さん 25年忌

貧乏人の医療機関

大阪社会医療センターの初代院長でした



昭和39年に、39歳の本田良寛（よしひろ）さんは、  
済生会今宮診療所の四代目所長になったと、ある記  
録にあります。その後、医療センター所長。亡くな  
ったのは60歳ということに・・・。

### 本田先生を偲び、健康第一、医療センターを利用しよう

あれから四半世紀が過ぎて・・・

今でも時たま、「昔、本田先生に診てもらった」とい  
う人に出会います。

昭和39年に今の西成市民館1階にあった済生会今  
宮診療所に来てから、医療センターの院長として亡く  
なるまで、釜ヶ崎の医療を支え続けてきたお医者さん  
です。1985年（昭和60年）7月6日、長居公園の  
臨南寺での本田先生センター葬には、勝利号や地下鉄  
で多くの労働者も参列しました。

焼香するときに、早すぎる死を恨んで、思わず「馬  
鹿ヤロー」と泣きながら怒鳴った労働者もいました。

多くの労働者にその死を惜しまれたのは、良寛さん  
の人柄によるものですが、それだけではなく、困った  
ときに医者にかかれるシステムを、釜ヶ崎に定着させ  
た功績によることも多いと思います。

お金が無くて医者にかかることができなければ、い  
くら人柄のいい本田さんといえども、多くの労働者と  
出会うことはできなかったからです。

医療センターの「借用書」は、今宮診療所に来た  
良寛さんが、考えだし、定着させたものです。「あ  
る時払いの催促なし」で、どれほど多くの貧乏人が助  
かったことでしょう。良寛さんの死から四半世紀。医  
療センターの借用書は、「機会ある毎に支払い督促」  
に変わっているようです。

それを気に病んで、医者に行くのをやめた人も居る  
と聞きます。督促する方もつらいことでしょう。それ  
を乗り越え、医者には早めに診てもらいましょう。

\*市更相・センターの診療依頼券が必要です。

## 行旅死亡人

本籍・住所不詳、氏名(自称松本載次)、推定年齢69歳の男性、身長167cm、体格普通、着衣は上衣グレー色長袖ポロシャツ、白色半袖シャツ、下衣柄物トランクス、遺留金品は現金172,265円、印鑑1本、財布1個、腕時計1個

上記の者は、平成22年6月20日午前10時30分、西成区萩之茶屋2丁目2番16号ビジネスホテル和香510号にて発見されました。

死亡は平成22年6月19日頃(推定)、上記発見場所に同じ。死因は病死の疑い。遺体は検視のうえ、市立小林斎場にて火葬に付しました。心当たりの方は当区保健福祉センターまで申し出てください。

平成22年9月21日 大阪市西成区長 林田 潔

## 行旅死亡人

1. 本籍・住所・氏名不詳、50~60歳位の男性、体格中肉、身長158cm、着衣は緑ジャンパー、黒ズボン、遺留品はテレホンカード1枚、宝くじ20枚、財布、携帯ラジオ1個

上記の者は、平成22年4月23日午前10時15分頃、大阪市浪速区湊町1丁目4番1号OCATビル1階北側男性トイレ内にて発見されました。

死亡は平成22年4月23日午前9時00分、上記発見場所に同じ。死因は窒息(縊頸)。

補足：(縊頸)は、「首をくびる」ですから、首つり(自殺?)のこと。頸は頸の異体字。

2. 本籍・住所・氏名不詳、50~70歳位の男性、身長約169cm、着衣は黒ジャンパー、作業ズボン、遺留金品は現金12,111円、小銭入、腕時計

上記の者は、平成22年5月14日午前5時10分、大阪市浪速区日本橋5丁目21番22号株式会社コシダアート東側路上にて発見されました。

死亡は平成22年5月14日午前0時頃、発見場所に同じ。死因は汎発性腹膜炎。

上記2件、遺体は検視のうえ、北斎場にて火葬に付しました。心当たりの方は当区保健福祉センターまで申し出てください。

平成22年9月21日 大阪市浪速区長 東谷茂樹

## 病気(急性腹膜炎)豆知識

急性腹膜炎には、腹膜全体に炎症が広がる急性汎発性腹膜炎と腹膜の一部に膿瘍を形成する限局性腹膜炎があります。

急性腹膜炎の症状=腹痛。通常は急激な腹痛が突発的に起こります。痛みは持続し、初めは限られた部位だけですが、次第に腹部全体に及びます。そのほかの症状として吐き気・嘔吐、発熱、頻脈がみられます。

急性虫垂炎、急性胆嚢炎、急性膵炎などの腹腔内の臓器の炎症が腹膜へ波及することによって生じます。

ほかに、外傷、消化管疾患や腸間膜の虚血による消化管穿孔が原因によって起こる胃液、胆汁などの腹膜への漏出も原因となります。